



J.A しまねびより



SNSで旬な情報を
投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



2026

8

August
Vol.125



特集 第12回通常総代会



J.A しまね 西いわみ地区本部版



©よい食P



こくしょうこくさん

2026

J Aしまね第12回通常総代会を6月28日（日）、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第12回を数える通常総代会を6月28日（日）、浜田市の石央文化ホールで開催しました。

当日は、総代定数1,000人（欠員20人）に対し、950人（書面決議、代理人出席を含む）が出席。議長団に、松本雄一郎総代（やすぎ地区本部）、伊藤孝政総代（島根おおち地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下克美組合長は「令和8年度は中東情勢の不安定化など外部環境が不透明であり、コスト上昇、市場規模の縮小は避けられないと見ている。そうした厳しい情勢においても、事業利益3億49百万円、当期剰余金4億69百万円を目指し取り組む。農業振興支援事業についても、昨年度同様1億50百万円を計画している。J Aの最大の使命は地域農業の振興であり、それを実践するためには盤石な財務基盤の確立が必須条件。新たな運営体制への移行に向けては、組合員・利用者の皆様へ丁寧に説明を重ねる中でしっかりとご意見を拝聴し、合意形成を着実に図っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を活発に展開することを確認しました。



議長団 伊藤孝政 総代(左) 松本雄一郎 総代(右)



竹下克美 代表理事組合長

食料・農業・地域政策の推進強化に向けた 基本農政の確立に関する特別決議（案）

我が国の農業・農村においては、生産基盤の弱体化や中東情勢等に伴う生産資材価格の高騰、供給不安定、気候変動に伴う高湿障害の拡大・自然災害の多発化など、様々な課題に直面している。

食料・農業・農村基本法の改正や農業構造転換集中対策の具体化など、食料安全保障の強化に向けた取り組みが大きく前進し始めたなかで、国産農畜産物の消費者への安定供給を将来にわたり確保するためにも、水田政策の見直しなど重要政策の抜本拡充等により、生産性向上等の取り組みと、中山間地等の条件不利地における営農継続環境の整備等を加速化する必要がある。

以上をふまえ、J Aしまねは食料安全保障の強化に向け、下記の事項に取り組む。

記

1. 中東情勢の悪化により、生産資材価格の高騰や供給不安定化等の影響が生じつつある中、国民の命に直結する食料生産を維持するため、今後の情勢に応じ、燃料や肥料、飼料の価格高騰対策などセーフティネット対策の拡充と供給安定対策に向け、組織の総力を挙げて取り組んでいく。

1. 基本計画に基づく水田政策の見直しにあたっては、生産現場の理解・納得が得られるよう、この間の情勢変化をふまえて、見直しの目的や将来的に目指す姿が明らかになるよう、政府・与党に強く要請していく。

1. 消費者が我が国の食や農の実態を「認知」「理解・共感」し、最終的には国産農畜産物を選択する動機付けにつながるよう、「国消国産」を軸とし、関係機関と一体となった統一運動を引き続き展開する。

以上、決議する。

令和8年6月28日

第12回 島根県農業協同組合 通常総代会

第12回

通常総代会特集

令和7年度 事業報告

令和7年度は長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化したことによりエネルギー供給や物流網の分断リスクが顕在化し、資源価格の高騰を招くなど、世界経済はさらに不安定な状況となっています。

国内では為替が円安基調で推移するなか、輸入原材料やエネルギーコストの上昇により企業収益や家計負担に影響を及ぼしました。加えて、猛暑の常態化・豪雨などの異常気象の発生や、令和8年1月には島根県東部を震源とした最大震度5強の地震が発生するなど、農業経営においても厳しい環境となりました。また、政府では「食料品の消費税ゼロ」について議論が展開されるなか、実際に施行された場合には、農業経営に大きな影響を及ぼすことが危惧されています。一方、近年は米価の上昇や需給の不安定化が社会的な関心を集めたことにより、農業問題が消費者の生活に直結する形で認識されつつあります。

こうしたなか、JAグループにおいては引き続き「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合の役割発揮」の実現に向け、農業生産基盤や地域・組織・事業基盤の確立、



日高光弘 代表理事副組合長



珍部誠 代表理事専務

経営基盤の強化の取り組みを進めたほか、令和6年に改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ、「食料安全保障の確保」「適正な価格形成」に向けた国民理解醸成及び行動変容に向けた情報発信の取り組みを進めました。

主な事業活動として、令和7

年度は、「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大、東・中部米集約倉庫の新設など農業生産基盤整備の拡充に取り組みました。

取り組みの結果、販売品販売高が417億7百万円、購買品供給高が295億76百万円、貯金残高が9,867億13百万円、貸出金残高が2,919億57百万円、長期共済保有高2兆5,480億25百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13・82%となりました。

収支面については、事業利益が11億10百万円、経常利益は17億49百万円となり、当期剰余金は9億86百万円となりました。

高残金	9,867億13百万円
高残金	2,919億57百万円
高保有比率	2兆5,480億25百万円
比率	13.82%
事業利益	11億10百万円
経常利益	17億49百万円
当期剰余金	9億86百万円
販売品販売・取扱高	417億7百万円
購買品供給高	295億76百万円

【議案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和7年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和8年度事業計画の設定について
- 第3号議案 令和8年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第4号議案 令和8年度における理事の報酬額の決定について
- 第5号議案 令和8年度における監事の報酬額の決定について



令和8年度 運営方針・事業方針

指導事業

農業振興

「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の2年目として、農業振興・営農指導、担い手育成支援等各部门で掲げる施策や指標の取り組みを通じて、生産基盤の維持・拡大に取り組みるとともに、「農業所得の増大」「安全・安心な地域農畜産物の安定供給」を実現することで、食料安全保障の貢献に努めます。また、コストに見合った適正な価格形成がなされるよう、生産者の再生産価格の確保に努めます。

持続可能な地域農業を実現するため、環境保全型農業を推し進め、「有機農業の生産・販路・販売拡大」、「GAP（農業生産工程管理）の普及」、「堆肥の利用促進」、ICT技術（ドローンやセンサー等）を導入した効率的な施肥や水管理、作物の生産性向上につながる取り組み、また深刻化する異常気象に対応した品種の導入や栽培技術の確立など、農業者、行政一体となって推進します。

また、農業者の高齢化や後継者の減少に伴う労働力不足に加え、依然として生産資材価格が高止まりしている状況に

対応すべく「コスト低減」につながる取り組みを担い手目線で取り組みます。



重点実施事項

- ① 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ② 農業労働力の確保と育成
- ③ 出向く態勢の構築と営農活動支援
- ④ 次世代総点検運動を通じた地域農業（産地）振興計画の策定と実践
- ⑤ 島根県農協青年組織協議会の盟友拡大とJA事業運営への参画機会の増大
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業の継続実施
- ⑦ 営農指導強化による生産振興
- ⑧ 島根県農産物の安全・安心への更なる取り組み
- ⑨ 労働力軽減に向けたスマート農業の導入検討

くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

地域特性を活かした活動を展開し、地域貢献や地域活性化事業を強化します。また地域に根差した活動を通じて、組合員地域住民の連携強化を促し、地域活性化に取り組みます。

「国消国産」の理念に基づき、地元農畜産物の魅力を広めるためのPR活動を強化し、消費者に地元産品の良さを理解してもらうとともに、地域農業を支える意識の醸成を図ります。

また、次世代層に向けた情報提供とタイムリーな情報を発信するため

に、紙媒体とデジタル媒体を併用して、より効果的なコミュニケーションを図り、JAの活動が地域に根付くことを目指します。

販売事業

農業戦略実践3力年営農計画に掲げた調和型農業（有機農業）の普及・実践、需要に応じた米生産・集荷・販売強化、品質向上による畜産物産出額の維持拡大、酪農経営向上など作物別の施策を通じて、持続可能な農業への構造転換を推進するとともに、安全・安心・高品質な農畜産物の安定生産・安定供給に取り組み、地域の発展に寄与していくことを目指します。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、新たな運営体制において「地区本部の地域密着性」と「事業本部の専門性・効率性」を両立させるため、物流改革や資材店舗改革、EC取引による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

自動車燃料事業については、経営効率化や人材確保、職員の専門性強化を図り、将来的な地域インフラの維持と

組合員サービスの向上を目指すため、直営事業の事業本部制等による県域一体化に向け、協議・検討を進めます。

信用事業

持続可能な島根の農業と豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、農業・くらし・地域の多様なニーズに対して、JAしまねの総合事業性を活かした金融仲介機能を発揮し、将来にわたって支持・期待されるJAを目指します。

共済事業

組合員・利用者には選ばれ続ける存在となるため、対面接点やデジタル技術を活用した接点づくりに取り組み、3Q活動を起点とした情報提供活動を展開していきます。あわせて、組合員・利用者へきめ細やかな保障点検と、ニーズに応じた保障・サービスの提供を行うことで、組合員・利用者の豊かな生活づくりへの貢献に取り組みます。

※令和8年度事業計画より一部抜粋
令和7年度実績や令和8年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページ掲載の通常総代会資料をご覧ください。

総代会資料
はこちら



功 労 者 表 彰 名 簿

〈令和7年6月退任の皆様〉

第12回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等
故 石川 寿樹	(代表理事組合長)	本 店
故 山根 盛治	(代表理事副組合長)	本 店
田中 徹	(常 務 理 事)	本 店
古川 敬	(理 事)	本店 (青年)
高橋美佐子	(理 事)	本店 (女性)
三島 明美	(理 事)	本店 (女性)
寺本美貴子	(理 事)	本店 (女性)
菅井 一	(理 事)	く に び き
藤原 政文	(理 事)	雲 南
戸田 雅之	(理 事)	雲 南
蛭子 郁夫	(常務理事本部長)	隠岐どうぜん

表彰者名	在任時の役職	選出地区等
藤江美由紀	(理 事)	出 雲
小村 伸治	(理 事)	出 雲
高野 智子	(理 事)	出 雲
山根 善治	(常務理事本部長)	斐 川
青木 広幸	(理 事)	斐 川
三上 博通	(理 事)	島根おおち
藤若 将浩	(理 事)	いわみ中央
田村 清己	(常務理事本部長)	西 い わ み
黒谷 幹雄	(代 表 監 事)	中 部
三島 滋夫	(監 事)	東 部
倉橋 英二	(監 事)	西 部

(敬称略)

(故 山根盛治様は令和5年10月退任)



第12回総代会 Q&A



質問 【業績還元に関する質問】 配当率の引き上げは歓迎するが、増分の一部は利益貢献度の高い地区本部への配分に充ててほしい。かつて1億円あった業績還元が直近では4,700万円まで落ち込んでいる。利益貢献している地区本部の不満を解消するため、次期以降は1億円規模の水準へ戻すよう要望する。

回答 JAとして、出資配当、事業分量配当、地域還元の3本柱を重視しており、令和7年決算では検討の結果、1.25%を出資配当として実施しました。業績還元は、組合員への還元として出資配当に並ぶ重要なものであり、現在より増額できるよう、事業利益確保に向けて事業改革を進めていきたいと考えています。

質問 【農林中央金庫に関する質問】 2024年に起きた農林中央金庫の巨額赤字問題について、これほどの大損失は農協への還元額を減らし、組合員経営を圧迫する重大な問題である。今後は各農協が丸となり、農林中央金庫の経営を厳しく監視し、言うべきことは言う姿勢を貫く必要がある。

回答 農林中央金庫においては、令和7年度、1千2百億円の黒字決算を達成し、財務の立て直しは図られたものの、評価損が残存しているため、今期も無配という結果に至っています。黒字でありながら配当ができない現状に対し、JAしまねをはじめ各組織は、全国会議等で復配を強く求めています。また、農林中央金庫法の改正により外部から2名の理事を登用するなど、経営体制の刷新も進められています。

今後も農林中央金庫の経営高度化に向けた動きを注視し、引き続き一日も早い復配を求めてまいります。

質問 【米価に関する質問】 令和8年度の米価に対する不安が農家間で募っている。米価が大幅に下落すれば、高齢化が進む中山間地域の農業は維持困難になる。営農指導員が減る現状で、農家を支援する体制も危機的だ。消費者に価格転嫁の必要性を広くPRし、8月の概算金は最低でも1万円/30kgを下回らないよう切に願う。政府の施策と連携しながら農林水産省へも働きかけ、農村を守るためにJAが力を発揮してほしい。

回答 令和8年産の概算金については、8月理事会での決定に向けて取り組んでいます。過去最高水準の民間在庫量、販売進度の低迷等、厳しい状況ではございますが、米のコスト指標である60kg当たり20,535円を目指し交渉を行ってまいります。また、島根県と連携し、備蓄米の買戻しについての要望活動も行なってまいります。

営農指導員につきましては、新たな運営体制を検討する中で組合員の皆様の要望に応じてまいります。

この他にも
多くのご意見を
いただきました。



©よい食P

topics
1

水稲生産者大会開催 水稲新品種の名称「つぶきらり」に

島根県と島根県農業振興協会、ＪＡしまねは７月１３日、出雲市のビッグハート出雲で令和８年度水稲生産者大会を開きました。大会では島根米新品種「島系８４号」の名称を「つぶきらり」に決定したことを発表しました。当ＪＡの竹下克美組合長は、この「つぶきらり」について「島根を、日本を代表するお米となるよう、ＪＡでしっかり取り組んでいく」と意気込みを語りました。

高温に強い「つぶきらり」は、夏季の高温による品質低下への対策として育成され、多収で倒伏しにくく、粒が大きく良食味といった特性があります。名称は４５５１点の応募の中から選ばれ、名称考案者の福田しのぶさんには、石原恵利子副知事から記念品が贈呈されました。令和１０年産から本格的に栽培される予定です。

大会には、生産者、県、ＪＡ等の関係者らが参加。基調講演では月刊食糧ジャーナルの鶴田裕編集部長が「品種動向と産地戦略」と題し米の販売戦略について語りました。



新品種「つぶきらり」に決定

topics
2

「日本の農業どこへ行く」 組合長が島根大学で講義

ＪＡしまねの竹下克美組合長は７月６日、島根大学で学生向けに出前講座を開き、農業の現状や協同組合の役割を通じて地域農業の担い手確保を呼びかけました。

講座には生物資源科学部の学生ら約７０人が参加。前半ではＪＡしまねの有機農業の取り組みや事業概要を紹介し、後半には竹下組合長が「日本の農業どこへ行く」と題して登壇しました。昨今の「令和の米騒動」や米の概算金決定の仕組みなどについて詳しく解説しました。

現場の課題に対する学生からの関心は高く、質疑応答では積極的な意見が相次ぎました。受講した学生は「価格決定の仕組みや地域の農業を支えるＪＡの機能が理解できた」と話しました。

当ＪＡと島根大学は令和５年２月に包括的連携協定を締結。今後も大学との連携を深め、農業の振興と地域社会の発展につなげていきます。



講義をする竹下組合長

topics
3

生協しまねと意見交換 米集約倉庫も見学

ＪＡしまねは６月２４日、生協しまねの理事の皆様を招き、ＪＡしまね東中部米集約倉庫の施設見学会と意見交換会を実施しました。この取り組みは、生産者組織であるＪＡと消費者組織である生協がそれぞれの視点で意見を交わし、食と農、地域社会の維持と発展のために連携できることを模索する目的で行われたものです。ＪＡからは竹下克美組合長、米穀園芸部の西尾一俊部長らが参加しました。

見学会では、今年３月に完成したばかりの米倉庫を視察し、物流の効率化の重要性等を説明しました。意見交換会では昨今の米価高騰を中心に、双方から多くの質問や率直な意見が寄せられました。

生協しまねの安井光夫理事長は「ＪＡと協力して取り組めることはたくさんあると実感した。今後も継続的にこういった機会を設けていくことが大切だ」と話しました。



米集約倉庫の見学会を実施

JALまね

島根米

まんぷく フェスタ

2026

お米1人
争奪戦!!

2026

9.20 日

10:00 → 15:00

くにびきメッセ

大展示場(松江市学園南1丁目)

詳細は
JAしまねInstagramにて
随時発信していきます
右の二次元コードからアクセス!



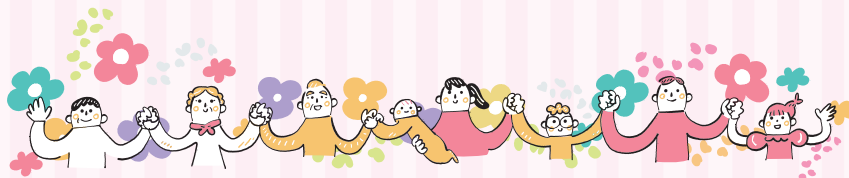
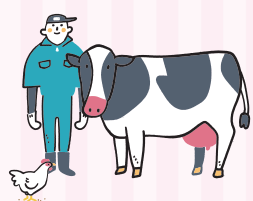
7

[主催] JALまね

あなたの1票で
ご飯のおとも

No.1が決まる!

メシトモ
GP 開催



「元気な地域」を女性部の力で!

島根おおち女性部

JA女性組織3カ年計画

「『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で」の実践2年目です。

★助けあい♡ ★学びあい♡ ★育てあい♡

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

島根おおち女性部では、瑞穂、羽須美、石見、川本、桜江の5支部とフレッシュミドルミズ部会幸せのたねたんぽぽが、食農教育や国消国産活動、研修会などに積極的に取り組んでいます。

女性部独自の活動として、夏期に行う研修会があります。今回は、詐欺防止と「家の光」記事活用をテーマに行いました。島根県警察川本警察署と地元の田所、出羽駐在所にご協力いただき、詐欺防止についてお話を聞いたほか、「家の光」記事活用では、部員が講師を務め「チョウと花のチャームバンド」を作りました。

また、冬期には、15年前から「わが家の味つけものコンテスト」を開催しています。今年も2月に開催する予定でしたが、前日に大雪が降り中止となりました。しかし、石見支部では14品のエントリーがあったことから、急遽、有志11人が集まり持ち寄り会を行いました。森光美佐子部長も駆けつけ「家の光」記事から「刻みマイタケとのりのみそ汁」を振舞いました。

島根おおち女性部は、これからも研修などを通して相互研鑽に努めていきます。

★学びあい♡



一所懸命青年連盟

JA YOUTH

JAしまね隠岐青年連盟

JAしまね隠岐青年連盟は、会員12名（令和8年4月1日現在）で高宮武士委員長のもと米・畜産・野菜などの生産者が盟友として活動しています。

食農教育活動では、農業や食に関して興味を持ってもらえるよう町内の小学校で出前授業を行い、自らの声を直接子どもたちに届けています。

また、昨年度は町内のイベントにて隠岐の島町内で栽培されているお米の品種当てクイズを行い、普段食べているお米と違う品種を食べてもらうことでお米の品種による違いなどを感じてもらえるようなブースを設置し、多くの方に地場産品のPRを行いました。

今後も農業を通じた活動や交流の場に積極的に参加し、地域の活性化に貢献していきます。



地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

石灰資材で酸性土を矯正する

ホウレンソウはビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜です。特に日本人に不足しがちなビタミンB群（中でも造血作用に関係する葉酸）や鉄分、カリウムを多く含んでいます。

冷涼な気候を好み、生育適温は15～20度です。耐寒性は強いものの暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えてしまいます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培が容易で、特に冬取り（2、3月収穫）のホウレンソウは栄養価が高く、甘さも増しておいしいです。

【品種】

秋取り（10、11月収穫）では、生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「福兵衛」（タキイ種苗）など、冬取りでは寒さに強い「クロノス」（サカタのタネ）、「伸兵衛」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

【畑の準備】

ホウレンソウは酸性土を嫌います。土壌が酸性になると土壌中のアルミニウムが溶け出し、これが根の伸長を抑制するといわれています。そのため、アルカリ性である苦土石灰をまいて酸性土を矯正しましょう。

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、1平方m当たり化成肥料（NPK各成分10%）200gと堆肥2kgを土とよく混ぜて、幅100cm、高さ5～10cmの栽培床を作ります。

【種まき】

適期は9～10月です。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1、2cmのまき溝を切ります。このとき、園芸

用支柱などを土に押し付けて平らなまき溝を作ると良いでしょう。その後、1cm間隔に種まきします（図1）。

種まき後は約1cm覆土をして、たっぷり灌水（かんすい）します。そして、不織布のべたがけをして風雨や害虫から幼苗を守ります（図2）。

【間引き・追肥】

1回目の間引きは、発芽がそろったときに込み合っている所を抜き取ります。その後、2、3回に分けて間引きをして、最終的に株間4、5cmにします（図3）。

栽培期間が長くなる10、11月まきでは、草丈10～15cmの頃に1平方m当たり化成肥料30gを追肥し、株元に軽く土寄せします。

【病害虫防除】

ヨトウムシは見つけ次第捕殺し、アブラムシは、登録農薬で防除します。ただし、生育初期は不織布をべたがけして飛来を予防すると良いでしょう。

【収穫】

株間が広い（疎植）と、どの葉にも光が当たるように広がり（開帳性）、反対に株間が狭い（密植）と葉は細く、立ち上がった草姿（立性）になる傾向があります（図4）。

草丈25cmを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。

株元の根を鎌やはさみで切り取り、枯れ葉を除いて300gくらいを目安に束ねます。

図1 種まき

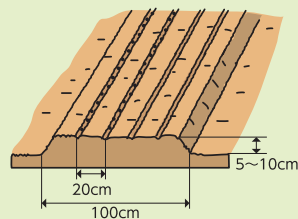


図2 ベたがけ

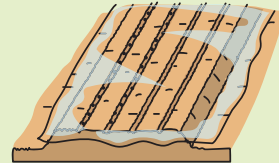


図3 間引き

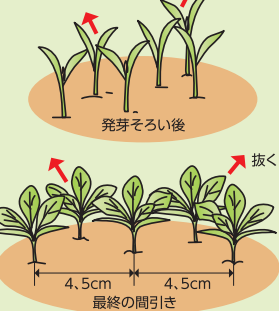
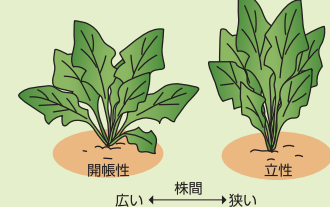


図4 収穫



栽培カレンダー（ホウレンソウ）

気候帯	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
冷涼地		●	■	■				
中間地		●	■	■				
暖地		●	■	■				

● 種まき ■ 生育 ■ 収穫



「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」をJAしまねホームページで連載中です。今月は「ソラマメ」!

理事会情報（7月29日開催）

- ①JAしまね安全・安心な農産物づくり運用規程および協定書の改正について
- ②令和9年度 島根県農業政策及び予算に関する要望について（第1次）
- ③新たな渉外管理・指導、渉外体制の策定について
- ④「支店・ブロックの機構改革」等について
- ⑤「統括支店職員を本店職員扱いとする人事異動」のすすめ方について
- ⑥「管理部門集約のすすめ方」の一部変更について
- ⑦令和8年9月1日付 機構改革の実施について
- ⑧ディスクロージャー誌2026について
- ⑨「新たな運営体制」における職制規程別表の見直しの考え方

と方向性について

- ⑩「新たな運営体制」を踏まえた「子会社管理の方向性」について
- ⑪令和8年度におけるマネロン等の防止にかかる対応について
- ⑫組合と理事との取引状況について（定期承認分）
- ⑬コンプライアンス・マニュアルの改正について
- ⑭大口貸出金の承認について
- ⑮総代選挙実施にかかる選挙管理者・選挙立会人等の指名について
- ⑯常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰新退職年金共済 財政再計算の試算結果および定年延長に伴う企業年金規約変更手続きについて
- ⑱令和7年度決算監事監査報告書 整備改善を要する事項（個別意見）への回答について

総代説明会を開催



竹長本部長 挨拶

J Aしまね西いわみ地区本部は6月19日、益田市有明町の島根県芸術文化センターグラントワにおいて令和8年度総代説明会を開催しました。

当日は、西いわみ地区本部常務理事竹長隆本部長をはじめ、珍部誠代表理事専務、嘉本智美常務理事が出席し、6月28日開催のJ Aしまね第12回通常総代会提出議案について説明を行いました。

主な発言内容と回答

渡邊 育子総代（北仙道地区）

質問 営農センターの変更後の計画等についての図面がありますが、グリーンセンターの場所を聞きたい。また、女性部としてお願いしていた厨房はどの辺になるのか、図面が小さすぎてはつきりわかりません。女性部役員会の際に少し拡大した図面をいただけたら喜びます。



竹長本部長

A 営農センターというピンク色の四角い図面と、この下に資材倉庫がごございます。この資材倉庫の隣の方の部屋がグリーンセンターになります。

厨房はその図面の上の方に四角い図の部屋があります。机や椅子が並んでいるように見えますが、「多目的調理室」として、会議も調理もできるという施設です。調理室だけということにできませんで申し訳なかったですが、そこで調理ができますので、よろしく願います。

『安全・安心な栗生産で信頼のある産地づくり』
津和野支店栗生産部会出荷反省会並びに通常総会の開催

津和野支店栗生産部会（吉田茂部会長）は6月26日、J Aしまね津和野経済センターにおいて令和7年度出荷反省会並びに通常総会を開催しました。

開会にあたって吉田部会長は、「近年栗の生産量が減少しており、夏場の高温や水不足が大きく影響していると考えられる。こうした状況にあっても諦めることなく、皆さんと共に頑張っていきたいと思うので宜しくお願いします」と挨拶しました。

総会前に行われた出荷反省会において、島根県西部農林水産振興センター農業部より、気温や降水量等気象状況について説明が行われ、平年を上回る高温等、夏場における異常な気温の推移を確認しました。また、J Aしまね西いわみ地区本部営農経済部指導販売課担当者から、昨年の出荷量や販売金額について資料説明があり、高温障害・水不足等による規格外果発生で、市場出荷が減少したこと等の報告がありました。

続く総会では吉田部会長が議長を務め議案審議を行い、令和7年度における活動・決算の報告・令和8年度の計画等全ての議案を全会一致で可決承認しました。

総会終了後、同振興センター農業部からの情報提供が行われ、農作業中の事故や熱中症を回避するための対策について資料説明がありました。



全員参加型の組織活動や、研修会等栽培技術の向上に向けた取り組みを次年度の目標に掲げました。



つわの野菜生産部会通常総会開催

つわの野菜生産部会（木村大輔部会長）は6月29日、道の駅津和野温泉なごみの里において令和7年度（第26回）通常総会を開催しました。

開会に先立ち木村部会長は「平成13年になごみの里がオープンして以来25年、この間消費税率の引き上げ・バーコード管理の導入・生産履歴の記載など出荷者に求められることが年々増えてきた。一方消費者のニーズにも変化が見られ、以前では新鮮で安いことが重視されていたが、

現在では価格に見合う価値や、小分け包装・少量販売・下処理済み等、使い易さや利便性が求められるようになった。こうした変化を的確に捉え、お客様に選ばれる魅力ある売り場づくりと、時代に合った産直運営を進めていくことがこれまでに重要となった。今後は需給バランスを考えながら適切な品目や出荷量を検討し、生産者・直売所・消費者の三者にとってより良い売り場づくりとなるよう進めてまいりたい」と挨拶しました。

J Aしまね津和野支店松浦利幸支店長のJ A挨拶に続いて、津和野町安村義夫農林課長、道の駅津和野温泉なごみの里の長井十志明駅長が来賓の挨拶を行った後、山田達郎さんを議長に選任し、議案審議を行い全ての議案を賛成多数で可決承認しました。

総会前には加工品等の食品表示に関する研修を行い、なごみの里・しろやまの産直コーナーに出品する際の留意点等について再確認しました。

同部会は、第2号議案令和8年度事業計画で、市場出荷を800万円、直売所での販売を3,500万円とし、全体の目標4,300万円を掲げて取り組むこととしました。

また第4号議案役員改選では、引き続き木村大輔さんに2年間（令和8年・令和9年）の舵取りをお願いすることとし、部会長の留任を決定しました。



木村部会長挨拶

令和7年度商人榎生産組合定期総会

商人榎生産組合（田中聖司組合長）は7月4日、J Aしまね日原支店ひまわりの会議室で令和7年度の定期総会を開催しました。

総会前に行われた研修会では、田中組合長の作業場で夏場と冬場の2回に分けて行われた榎の出荷延長の実証試験結果について、島根県西部農林水産振興センター・益田事務所農業部から報告を受けました。

総会の開会にあたり田中組合長は、榎に寄生する病害虫等の状況について触れた後、「昨年と比較して出荷量が伸びており、市場価格の上昇もうかがえる。しかしながら実態は生産コストに追いついていない状況があり、引き続き品種や他産地の取引価格等様々な情報を収集し、安定供給に努めた上で価格の交渉に繋がっていきたくと考えている。また、他の作物と同様に新たな生産者の育成・確保は重要な課題であり、我々生産者と行政が一体となって取り組む必要がある。関係機関のご協力をお願いしたい。今後は盆需要等に向け、熱中症や熊などの対策を怠ることなく、頑張っていたきたい」と挨拶しました。

芝田剛日原支店長のJ A挨拶、津和野町安村義夫農林課長の来賓挨拶に続き、藤山宏副組合長が議長を務め、議案審議を行い全ての議案を可決承認しました。第3号議案役員改選については、来る40周年に向けて田中組合長以下現在の役員全員が留任することと決定しました。



田中組合長開会の挨拶



津和野町農政会議が通常総会を開催

津和野町農政会議（永田寿秋会長）は7月6日、JAしまね日原経済センターひまわりの会議室において第21回通常総会を開催しました。

はじめに出席者全員で綱領の唱和を行った後、永田会長は挨拶で「我々農業者にとって明るい話題と言えば、昨年の米価の大幅な上昇だった。一方で不安定な中東情勢によるナフサ由来の資材価格の高騰もあり、依然として先の見通せない状況が続いている。また地元集落では人口の減少によって、冠婚葬祭など地域の活動において人手不足の状況となっている。しかし農家がそこにある自分たちの農地を耕作し、畦畔除草や水路・道路の清掃を行うことで集落全体の景観が保たれており、地域における農業者の存在の重要性を認識する必要がある。このことから再生産が可能で持続可能な農業の実現に向けて、国の施策としてしっかりとした方向性を打ち出してもらいたい。私たちも引き続きそうした声を上げていく必要があると思っています」と挨拶しました。



永田会長開会の挨拶

上程された議案を全て可決承認しました。

続いてJA挨拶を西いわみ地区本部竹長隆本部長、来賓挨拶を中村芳信島根県議会議員、島根県農政会議山中康樹会長、津和野町宮内秀和副町長、川田剛津和野町議会議長が行い、日頃の農業振興や地元の農業問題と向き合う活動に対し、敬意と感謝の言葉が伝えられました。議長に田中懸志朗さんを選任し、『令和7年度活動報告並びに収支決算』、組織の活性化と町内農業者の一体的な農政運動の展開などを盛り込んだ『令和8年度活動方針案及び収支予算案』、『会費の徴収方法』の議案3案全てを全会一致で可決承認しました。

吉賀町農政会議通常総会

吉賀町農政会議（齋藤一栄会長）は7月14日、JAしまね六日市支店会議室において第21回通常総会を開催しました。開会にあたって永安俊治副会長が挨拶を行い、日頃の活動に対する協力に感謝の意を伝えました。

JAしまね西いわみ地区本部竹長隆本部長のJA挨拶に続いて、中村芳信島根県議会議員、岩本一巳吉賀町長より来賓挨拶をいただきました。

永安副会長が議長を務め議案審議を行い、令和7年度における活動並びに収支決算の報告、令和8年度活動計画及び予算案など、全ての議案を全会一致で可決承認しました。

総会終了後、来賓として出席していただいた島根県農政会議山中康樹会長から、今日の農業・農政に関する講演が行われました。

一昨年、吉賀町農政会議が起こした「農業者一揆」（トラクターパレード）は、全国に波及し各地で同様の行動が展開されました。今年度においても農畜産物の生産コストに対する消費者理解の醸成と、持続可能な農業の実現に向けた運動の展開など、中山間地域をはじめとする吉賀町の実態に即した政策の実現に向け、引き続き取り組むこととしました。





西いわみ女性部美都支部「泥落とし」

J Aしまね女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は6月30日、益田市美都町の東仙道公民館で泥落としし会を行いました。

佐々木支部長は会の始めにあたり「今日は田んぼ仕事の泥と疲れを落としてゆつくり楽しく過ごしてください」と挨拶を行い、益田警察署都茂駐在所の吉田俊樹巡査部長による交通事故や様々な詐欺に遭わないための教室、シンガーソングライターによるミニライブを計画している旨を伝えました。

吉田巡査部長は自己紹介の後、身近な場面で起こった交通事故や、今年4月から施行となった「自転車の反則通告制度」について資料を基に説明をし、美都町内で起きた事故件数が今年1月1日から半年で、27件（昨年1年間で35件）となっていることなどを報告しました。

また、近年多発している様々な手口の詐欺については、「国際電話利用休止」の手続きやスマホ向けの「特殊詐欺対策アプリ」を紹介し、実際にこの日参加した方の自宅固定電話の国際電話サービスの利用停止の受付や、携帯電話への詐欺対策アプリの設定等を行いました。

次に地元スーパーマーケットの店内で流れている曲、たいいせつなひとときでお馴染みの地元美都町在住のシンガーソングライター河上耕二さんによるミニライブが行われました。



河上さんの選曲は、参加した皆さんに馴染み深い曲が多く、心に響く歌声に大きな拍手が贈られていました。



会場で吉田巡査部長に確認いただきながら、詐欺防止対策の手続きを進めました。



開会にあたって佐々木支部長挨拶

西いわみ女性部津和野支部集会

J Aしまね西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は7月1日、津和野温泉なごみの里において令和8年度津和野支部集会を開催しました。

はじめに出席者全員でJ A女性組織綱領の唱和を行った後、中川支部長は開会の挨拶で今回の集会資料に掲げた活動計画の一部を紹介し、様々な活動への積極的な参加と新規会員の勧誘をお願いしました。

来賓として出席したJ Aしまね西いわみ地区本部竹長隆本部長は挨拶で、「女性部組織をはじめ青年組織や農政会議・年金友の会など多くの組織があり、こうした組織の皆さんはJ Aにとって非常に大切な存在」と日頃の協力に感謝の意を伝えました。

議長に青木サチ子さんを選任し、令和7年度の活動報告並びに収支決算、令和8年度の活動計画及び収支予算案の審議を行い、全ての議案を可決承認しました。多くの活動報告を受けた出席者からは、役員の負担とならないよう適切な手当を支出すべきといった意見や、活動助成に関する要件等について質問があり、見直しを必要とする貴重な意見については、今後の役員会で検討することとしました。

集会閉会後、津和野警察署による「交通安全と特殊詐欺対策教室」と題した研修会が行われ、身近なところで起こりうる交通事故や、複雑化した詐欺の手口と幅広い年齢層に及ぶ被害の状況報告を受け、防犯に対する意識と対策強化の必要性を改めて認識しました。



最後にこの日の為に用意された豪華景品の抽選会を行いました。



交通安全と特殊詐欺について、資料とスライドを用いた研修を受けました。



中川支部長開会の挨拶



赤雁農村歳時記 第2弾生き物調査



吉中先生から教わった葦の陰や石の下に網を入れ、魚やエビなど生物を探します。

益田市赤雁町の有限会社赤雁の里（渡邊一行代表）とJAしまね西いわみ地区本部は

7月19日、同町の赤雁の里交流館周辺で、益田市内の小学生や幼児とその家族60人が参加し、農村歳時記の生き物調査を行いました。

開会にあたって渡邊代表は、猛暑のなかの参加に感謝を述べた後「皆さんが6月に植えたアートの稲も大きくなりました。今日は田んぼの中ですくすくと育った稲の確認や、周辺の川にどんな生き物が生息しているか探してみてください」と挨拶しました。

続いてJA挨拶を西いわみ地区本部竹長隆本部長が行い「十分な水分補給で暑さに負けず大いに楽しんで、夏休みの大切な思い出にしてください」と話しました。

開会式を終えた参加者は場所をアートの田んぼに移し、稲の生育状況についてJAしまね西いわみ地区本部の岡本忠明米穀課長から説明を受け、春に植えた「平和」の文字と「♡」の絵がハッキリと浮かび上がった「きぬむすめ」の状態を確認しました。更に側を流れる沖田川へと場所を移した参加者は、捕獲用の網と虫かごを手に川へ入り、高津川水系の生息に詳しい吉賀町の「魚酔」吉中力先生から、川辺に生息する生き物を見つける方法や、ポイントについて説明を受けました。

子どもたちは吉中先生から教わった「ガサガサ」という手法で、葦など多年草の影や石の隙間へ何度も網を入れ、様々な生き物を見つけては歓声を上げていました。

調査を終え生き物が入ったケースの中身を確認してみると、ヤマトヌマエビ・テナガエビ・アカハライモリ・ハヤ・ドンコなど多くの生物が入っており、中でも珍しいスナヤツメという絶滅危惧Ⅱ類に指定された生物も今回の調査で見つかりました。吉中先生からは「これだけ様々な生き物の生息が確認できるということは、この川の自然環境が損なわれていない証拠」と説明がありました。

昼食は恒例となった北仙道地区女性部有志による、手作りのおにぎり等が入った弁当と流しソーメン。恒例となったカキ氷や綿菓子も好評でした。



自然の恵みを受けて『平和・♡』のきぬむすめは順調に生育しています。9月には稲刈りをしてこの農業体験『農村歳時記』を締め括ります。



みんなが見つけた生き物の説明を受けました。『魚酔』吉中力先生（右）

農業用廃プラスチックの回収を行いました

JAしまね西いわみ地区本部は7月7日・21日の2日間、管内の10施設を回収場所に指定し、農業用廃プラスチックの回収を行いました。

農業現場で使用されている被覆用フィルムやマルチフィルム、肥料・飼料袋、育苗トレイなどのプラスチック製農業資材については、一定の使用期間を経過し廃棄等の処理をする場合、排出業者（農業者）自らの責任で適正に処理することが義務付けられています。

各回収場所に持ち込まれた廃プラスチック資材は廃棄重量を測定後、業者によって引き取られ適正に処理されました。



回収対象物は、肥料・飼料等のポリ袋、農業用ポリエチレンフィルム、農業用塩化ビニルフィルム、あぜ波板・育苗箱などです。次回回収日は広報誌にてお知らせします。



令和8年産米穂肥講習会

J Aしまね西いわみ地区本部と島根県西部農林水産振興センター益田事務所農業部は7月2日から7月7日までの間、管内の20会場で穂肥講習会を行いました。

同農業部による生育状況の報告では、『4月下旬から5月上旬にかけて気温が低く（特に夜温）、活着・分けつの遅れがみられたものの、その後の好天によって気温が上昇し、分けつは旺盛に進んだ』『葉色は平年より若干淡く、生育は早い傾向』とありました。

また、今後の生育ステージにおける注意すべき点として、適期のカメムシ防除や夏場の高温障害対策について説明がありました。

講習会へ参加された方からは、これまでのカメムシとイネカメムシの生態や、それぞれの防除適期に関する多くの質問や意見等がありました。



西いわみ集落営農・法人ネットワーク通常総会開催

西いわみ集落営農・法人ネットワーク（糸賀盛人会長）は7月22日、益田市内で第9回通常総会を開催しました。

開会の挨拶で糸賀会長は、「日本の食料・地域を守るのには我々集落営農であり、個人の努力には限界がある。集落が無くなれば人がいなくなる。我々集落営農が日本を守り世界を守るといふ気概を持って取り組んでいただきたい。今日はそうしたことを胸に刻んでいた。だき、本総会が実り多いものとなるよう宜しくお願いします」と話しました。

J A挨拶を西いわみ地区本部竹長隆本部長が行い、自身も構成員となっている法人や地元の実情に触れ、地域の人口減少を危惧すること等について話しました。

続いて、来賓を代表して中島謙二島根県議会議員、山本浩章益田市市長が挨拶を行い、圏域における農業振興の取り組みに、敬意と感謝が伝えられました。また、鈴木憲和農林水産大臣から届いた総会の盛会と、会員組織の活躍に対するメッセージも読み上げられました。

総会の議長を糸賀会長が務め、全会一致で総会の議案を可決承認した後、隠岐郡海士町の大江和彦町長による講演があり、大人の島留学や産業の創出など多くの事例が紹介され、地元を思う行政自らが身を切った改革を、会場の参加者は取り組むべき課題として真剣に受け止めていました。また、埼玉県から移住し海士町役場の職員として働く、島村愛実さん（移住3年目）が「絶対1年で帰る」から、「これから、大好きな海士町で農業とともに暮らしを楽しみながら頑張る」と、移住先から定住先へと変化した3年間を紹介しました。





益田東高校神楽部へ支援金贈呈

J A共済連とJ Aしまね西いわみ地区本部は、6月30日J A共済連の地域文化活動支援及び後継者育成活動支援の一環として、「第15回高校生の神楽甲子園」へ出場する益田東高校神楽部へ神楽伝承活動支援金を贈呈しました。

同校の校長室で行われた贈呈式には、坂田仁志校長先生、神楽部部長の三浦大翔さんが出席、西いわみ統括支店の滝元英二支店長が大会での健闘を祈り、三浦部長へ趣意書並びに目録を手渡ししました。神楽甲子園は、地域の伝統芸能を継承する高校生の技術の向上と地域間交流を目的に、広島県安芸高田市の神楽門前湯治村神楽ドームで開催されるもので、今年は7月25日、26日に全国から21校が参加し、永い歴史の中で育まれた地元伝統の技を競います。

今年が6回目の出場となった益田東高校、令和4年の第11回大会では、演者の迫力や演舞の内容など、総合的な審査判断によって優秀校に贈られる「日藝選賞」を受賞しています。



左から、西いわみ地区本部滝元英二統括支店長、部長の三浦大翔さん、坂田仁志校長先生

J Aしまね西いわみ地区本部 組合員親睦ゴルフコンペ開催

J Aしまね西いわみ地区本部は萩・石見カントリー倶楽部で7月6日、第14回J Aしまね西いわみ地区本部組合員親睦ゴルフコンペを開催し、管内から参加申し込みがあった100人26組が参加しました。

今年は昨年に続く早い梅雨明けとはなりませんでしたが、前日まで降り続いた雨も小康状態で、梅雨の中休みといった天候のもとでの開催となりました。時折雨雲に覆われるなど上空を気にしながらにはなりましたが、全員がホールアウトするまで雨具に袖を通すことはなく、参加者にはスコアを気にしつつもお互いに声を掛け合いながら、終始和やかな雰囲気の中で18ホールをプレーしていただくことができました。



参加者の皆さんはスタート前の調整に余念がありません。



7月の子牛市場

畜産



7月14日に雌44頭、去勢52頭、計96頭の上場により、令和8年7月の西部家畜市場が開設されました。今月はやや出荷頭数が減少しましたが、多くの購買者に来場いただき活発な取引が行われました。平均価格が雌805千円(前回比98%)、去勢879千円(前回比95%)、計851千円(前回比95%)と前回よりもやや値下がりとなりました。今後も購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼い方手引き」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

次回の市場開設日は令和8年9月15日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に事故や疾病等無いようお願い致します。

7月西部子牛市場西いわみ管内の成績(税込)(単位:円・kg)

市町村	性別	頭数	最 高	最 低	平 均	平均種
益 田 市 (益 田)	雌	16	918,500	684,200	809,463	310
	去勢	26	1,029,600	436,700	878,265	333
	計	42	1,029,600	436,700	852,055	324
益 田 市 (美 都)	雌	1	792,000	—	792,000	324
	去勢	0				
	計	1	792,000	—	792,000	324
益 田 市 (匹 見)	雌	2	786,500	724,900	755,700	294
	去勢	2	885,500	872,300	878,900	309
	計	4	885,500	724,900	817,300	301
津和野町 (津和野)	雌	0				
	去勢	0				
	計	0				
津和野町 (日 原)	雌	5	833,800	789,800	812,900	309
	去勢	7	963,600	847,000	915,829	332
	計	12	963,600	789,800	884,950	325
吉 賀 町 (柿 木)	雌	0				
	去勢	0				
	計	0				
吉 賀 町 (六日市)	雌	1	821,700	—	821,700	338
	去勢	2	822,800	724,900	773,850	300
	計	3	822,800	724,900	789,800	313
西いわみ 管内合計	雌	25	918,500	684,200	805,009	310
	去勢	37	1,029,600	436,700	879,762	330
	計	62	1,029,600	436,700	851,107	322

産直コーナー 会員募集中!!

Aコープますだ中央店・ラポ店で
産直会員として、
自慢の野菜や果物・加工品などを
販売してみませんか?



趣味で始めた家庭菜園だけど
「出来過ぎて我が家では食べきれない…」
お裾分け気分で、店内で販売してみませんか?

販売農家
の方も
大歓迎です。



※詳しくはJ Aしまね西いわみ地区本部 営農経済部 指導販売課まで
電話 (0856) 23-1911

令和8年産米出荷袋の書き方について

袋口印刷

年産を記入してください。

島根県産銘柄品種欄

★該当の品種名を記入してください。

(うるち) コシヒカリ・きぬむすめ・つきあかり・ヒノヒカリ・つや姫
(も ち) ヒメノモチ・ココノエモチ・ヤシロモチ・ミコトモチ
(酒 米) 五百万石・改良雄町・佐香錦・山田錦・緑の舞

検査請求者記載欄

- ★検査請求者欄は、生産者の氏名を記入する。
- ★検査請求者の住所欄は、生産者の住所を記入する。
- ★生産地欄は、生産された場所を記入する。

(袋の結び方)

- ★裏口をそろえ裏側に3回折り曲げる。(青線が真上にくる)
- ★両端10cmの所(折り曲げ線)で中央に折り曲げ、真結びする。

検査証明書

荷造り、包装及び左記の事項を証明する。

年産 種類 水稻うるち玄米

銘柄 島根県産

正味重量規格
30kg

※風袋込重量は30.5kgです

検査請求者

住 所 島根県〇〇市〇〇町

代 理 人 島根県農業協同組合

住 所 島根県松江市殿町

生 産 地 島根県〇〇市〇〇町

品 種 名 ()

★混合米又はわからない場合は、**その他**とする。

★規定の品種名を正しく記入してください。

ひらがな→ひらがな
カタカナ→カタカナ
漢 字→漢 字
のように左記の品種欄通りに記入し、略称やあて字等は使用しないで下さい。

生産履歴台帳の記帳及び提出について (お願い)

生産基準に基づく安全な農産物づくりと記帳を通じて、「安全・品質」に関する情報を消費者に伝えること、これが生産履歴台帳の記帳の意義です。

JAは消費者に「安全・安心」なお米を提供し、有利販売のために、生産履歴台帳の記帳運動を展開し、JAが取り扱う米を「JAしまね米」と「一般米」に区分して生産・販売に取り組んでいます。生産履歴台帳の記帳は、手間のかかる作業ですが、ご理解いただきご協力をお願いします。

「JAしまね米」の定義

「JAしまね米」とはJAと売渡委託契約(出荷契約)を締結した生産者が生産し、JAに出荷した米穀であり、下記の要件を満たす米穀であります。

- 1) 銘柄が確認できた種子により栽培された米穀(種子更新)
- 2) 登録検査機関で検査された米穀
- 3) 生産基準に基づき栽培され、生産履歴記帳された米穀

なお、「JAしまね米」と「一般米」では価格差があります。

* 生産履歴台帳は、出荷までにご提出ください。

問い合わせ先 JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部米穀課 及び 各支店

(記入上の注意点)

○各品種ごとに生産履歴をご記入ください。ただし、使用資材(肥料、農薬)が異なる場合は、圃場ごとに記入をお願いします。

○記帳については、記入例を参考にしてください。

○生産履歴台帳の用紙が不足の場合は、お手数ですが、最寄りのJAへお越しください。

○生産履歴台帳の提出は、収穫後に紙袋で出荷の方は出荷申込み時に、カントリー及びライスセンターご利用の方は搬入前に必ず提出してください。

JA栽培管理記録

生産日誌

令和8年産

JA名

島根県農業協同組合(西いわみ地区本部)

① 作業日誌			③ 施肥日誌			④ 防除日誌						
作業名	番号	実施 月/日	区分	番号	肥料名	施肥 月/日	施用量(kg/10a)	区分	番号	✓ 農薬名	使用 月/日	使用量(10a)
播種	0 1		土づくり		堆肥		kg	箱剤		スタウトアレス箱剤		g/10a
代かき	0 2		土づくり		ミネラルG		kg	箱剤		稲大特箱剤		g/10a
田植開始	0 3		基肥		化成肥料 12-18-14		kg	箱剤		デジタルミネクト箱剤		g/10a
中干	0 4		基肥一発		GO一発821		kg	箱剤		スクラム箱剤		g/10a
穂肥	0 5		基肥一発		セラコートRワン		kg	箱剤		サキドリEW		m
穂肥	0 6		基肥一発		水稻一発中晩生用		kg	箱剤		クサウエボン1キロ粒剤		kg
出穂	0 7		中間追肥		ホクサイダ		kg	箱剤		カイリキZ1キロ粒剤		k
収穫開始日	0 0		中間追肥		速効加里ブレンド34		kg	箱剤		流星1キロ粒剤		k
			穂肥		化成肥料 14-10-13		kg	箱剤		ソニックブームSジャンボ		h・g
			穂肥		化成肥料 17-0-17		kg	箱剤		レブラントキロ粒剤		k
							kg	箱剤		クサウエボン1キロ粒剤		k
												m
												k
												ml
												kg

実施日、10アール当たりの施用量・使用量を記入して下さい。
印字してある農薬を使用の場合は、農薬名の前の欄に✓印を記入して下さい。
印字外の肥料・農薬がありましたら、印字下の空欄に名称を記入し、実施日、施用量・使用量を記入してください。

実施日、10アール当たりの施用量・使用量を記入して下さい。
 印字してある農薬を使用の場合は、農薬名の前の欄に印字を記入して下さい。
 印字外の肥料・農薬がありましたら、印字下の空欄に名称を記入し、
 実施日、施用量・使用量を記入してください。

② 備考

該当する番号に○をして下さい。

(自家育苗の方) 種子更新はしましたか?	1: 自家育苗 2: 苗購入(JA購入 その他)
1: した(JA購入 その他) 2: していない	
1: した 2: していない	
1: なっていた 2: なっていない	
1: 施設 2: 自家	
1: した 2: していない	
1: あった 2: なかった	
1: あり 2: なし	
検査依頼書と現物の確認はしましたか?	1: した 2: していない

※重要
 JA以外で種子・苗の購入の場合、購入先からの伝票(請求書等)の写しが必要となります。

住所・生産者・品種名を記入してください。

生産者確認: 上記内容に○を記載しました。

住所: _____

生産者: _____

品種: _____

記録内容検証: 生産資材が適正に使用されていることを記録内容により検証しました。
 月 日

JJA担当者 確認欄

品種確認

種子

苗

細目書

令和8年産米 検査計画

2026年		8月												9月																	
倉 庫 (検査場所)	支店・地区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
中 央 (双 葉)	益田東支店	○		○							○							○							○						
	真砂地区	○		○							○							○							○						
	津田地区	○		○							○							○							○						
	種地区	○		○							○							○							○						
	北仙地区	○		○							○							○							○						
	鎌手地区	○		○							○							○							○						
	中西支店	○		○			○							○							○							○			
	美濃地区	○		○			○							○							○							○			
	二条地区	○		○			○							○							○							○			
	小野地区	○		○			○							○							○							○			
	豊田地区	○		○					○								○						○							○	
	高城地区	○		○					○								○						○							○	
中 吉 田	駅前地区					○							○							○							○				
	吉田地区					○							○							○							○				
	高津支店					○							○							○							○				
	益田支店					○							○							○							○				
	豊川地区					○							○							○							○				
美都 R C	美都地区		○							○							○						○								○
匹 見	匹見地区							○							○							○							○		
山 下	津和野地区		○			○			○				○				○			○			○				○			○	
鷺 原	津和野地区					○				○				○			○			○			○					○			○
日 原	日原地区							○							○							○							○		
七 日 市	吉賀地区					○			○				○			○				○			○				○			○	

2026年		9月													10月																	
倉 庫 (検査場所)	支店・地区	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
中 央 (双 葉)	益田東支店	○							○				棚 卸 し			○					○							○				
	真砂地区	○							○							○						○							○			
	津田地区	○							○							○						○							○			
	種 地 区	○							○							○						○							○			
	北仙地区	○							○							○						○							○			
	鎌手地区	○							○							○						○							○			
	中西支店				○							○								○	○								○			
	美濃地区				○							○								○	○								○			
	二条地区				○							○								○	○								○			
	小野地区				○							○			棚 卸 し						○	○								○		
豊田地区						○						○							○	○								○				
	高城地区					○							○						○	○								○				
中 吉 田	駅前地区			○							○		棚 卸 し					○								○						
	吉田地区			○						○								○								○						
	高津支店			○						○								○								○						
	益田支店			○						○								○								○						
	豊川地区			○						○								○								○						
美都 R C	美 都 地 区							○						○							○								○			
匹 見	匹 見 地 区					○						○							○								○					
山 下	津和野地区			○			○				○			○				○			○				○							
鷺 原	津和野地区				○			○				○			○				○		○					○			○			
日 原	日 原 地 区					○													○								○					
七 日 市	吉 賀 地 区			○			○				○			○				○			○				○			○				

- 検査買入に係る費用単価については、1袋30kgあたり 検査手数料35円(税別) 受検費用 170円(税別) 集荷運賃 170円(税別) となります。
- 米袋の銘柄・品種名欄には、「つきあかり」「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」「五百万石」「佐香錦」「ヒメノモチ」「ミコトモチ」等 ひらがな・カタカナ・漢字に注意して産地品種銘柄で記入して下さい。
- 紙袋出荷について、皆掛重量が「30.5kg」になりますので、袋詰めの際にはご注意ください。
- 9月30日(水)は、棚卸しの為検査・買入は行いません。(受入れは可能です。) ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力をお願い致します。

『おさいふカード』会員へ

優待割引

メガネ 補聴

8%OFF 5%OFF



1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

メガネ・補聴器の専門店



PARIS MIKI

令和8年 9月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

4日(金)	9時～13時	柿木事業所	15日(火)	9時～13時	津和野経済C
9日(水)	9時～12時	中西事業所	16日(水)	9時～13時	匹見事業所
	13時～16時	益田グリーンセンター	17日(木)	9時～13時	六日市経済C
10日(木)	9時～13時	日原経済C	18日(金)	10時～15時	パリミキフェア 美都事業所(会議室)
14日(月)	9時～12時	西益田支店	24日(木)	10時～15時	ACコーポラポ店前 (益田東支店)
	13時～16時	益田中央支店			

お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612へお気軽にどうぞ

読者の

俳句川柳

※締切※
令和8年
9/15
(当日消印有効)

俳句コーナー【お題】蝉

- 地中五年 やつと聞こえる 蝉のスピーカー (津和野町 大羽 克巳さん)
- 蝸が 鳴いてひとりば さびしかな (津和野町 潮 恵子さん)
- 灼熱の 夏を謳歌の セミ時雨 (益田市 村上登美子さん)
- 夏ちかし 暑くなるよと 蝉うたう (津和野町 大庭 桂子さん)
- 生まれし舎 地球からと 蝉うたう (益田市 花本 清勝さん)
- 夕蟬が 夏の静寂 物語る (益田市 加藤 富之さん)
- 昼休み ニイニイ蟬に おこされて (益田市 豊田 初重さん)
- セミが羽化 声の競演 1週間 (益田市 吉村 芳江さん)
- 山道を ゆっくり走り 蝉の声聞く (益田市 和崎富久代さん)

川柳コーナー

- 抜け殻に ならぬようにと セミリタイヤ (益田市 齋藤 照平さん)
- 蟬の歌 みじかい命 哀れなり (益田市 小笠原かよみさん)
- 降らぬのも 淋しき思い 蟬しぐれ (益田市 岡崎 雄一さん)
- 蟬の声 暑い暑いと 鳴いてるよ (益田市 稲岡三紀子さん)
- 蟬が鳴く 庭木に 父の耳奥に (益田市 中尾 公子さん)
- 空蟬の 背割り皮脱ぎ よる成虫に (益田市 田中千代子さん)
- 大人になり たった三日の 生命だね (益田市 両見かすみさん)
- 夕暮れ時 短い生命 セミ時雨 (益田市 初山 敏子さん)
- 蟬しぐれ おらあやっぱり 夏がいい (津和野町 大井 守さん)
- 命ある かぎりせつない 蟬の声 (津和野町 藤井 礼子さん)
- 庭の柿 今年不良と 蟬が泣く (益田市 喜村 信江さん)
- 木の幹に セミの抜け殻 がっかりと (津和野町 古山 包子さん)
- 猛暑なら 復活するかな 蟬時雨 (益田市 大谷 律子さん)
- 玄関の 網戸で一泣 迷い蟬 (津和野町 日熊 春子さん)
- ジイジイと 蟬のなく声 あつさまず (津和野町 豊田 往野さん)
- 蟬の声 暑さ忘れて 鳴き止まず (津和野町 三好 厚子さん)
- なきやまぬ 蟬のうた声 耳の中 (津和野町 高谷喜里栄さん)
- 宝もの セミのぬけがら 孫2才 (益田市 佐々木いさ子さん)
- 里山に 夏を呼ぶ 蟬の声 (益田市 金子 貞男さん)
- 梅雨あがり ひときわたかい 蟬のこえ (津和野町 中野 健二さん)
- 法師蟬 一節鳴きて ご挨拶 (益田市 柳井 文江さん)
- 閑けさや 吾の耳の中 蟬しぐれ (津和野町 桑原八恵子さん)

掲載は到着順

あなたが選ぶ イチオシの句
6月号お題(ホタル)

川柳 螢夏です 街で出会った 少女の名

(益田市 加藤 富之さん)

★作品は、お一人(一世帯)一句の掲載とさせていただきます。(多くの作者の作品掲載を基本とするため)

★『あなたが選ぶイチオシの句』 お気に入りの一句を選んで、はがきに〇〇さんの句と記入してお送りください。

10月の俳句のお題は「運動会」です。ご応募お待ちしております

応募
方法

- 葉書に 俳句か川柳かを明記してください。 住所、氏名、電話番号をご記入ください。
- あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課



西いわみ地区本部からのお知らせ

組合員の皆様へ



虹のホールますだ

令和8年

9月26日(土)

午後2時30分～7時00分

益田東支店感謝祭

感謝祭

屋外ステージ

午後2時30分
スタート

人形供養式

人形供養式 9/26(土)午後1時30分開式

人形受付

9/25(金)

8:30～17:00

9/26(土)

8:30～13:00

★お願い

不燃物(ガラス製・金属製・陶器製・土製等)はお受けできません。
ケースは、はずしてお持ちください。



吹奏楽演奏 益田市民吹奏楽団

吹奏楽演奏 東陽中学校吹奏楽部

グラントワ・ユース・コール(合唱)

MAY HIPHOP SPECIAL DANCE UNIT

石見神楽上演 上吉田神楽社中

ゴツチャ楽団

(ステージ出演内容が変更となる場合があります)

※写真はイメージです

葬儀事前相談会

25日(金) 午前9時～午後5時

26日(土) 午前9時～12時

無料 生前遺影写真撮影会

25日(金) 午前9時～

26日(土) 12時まで

無料 プロによるフラワーアレンジメント教室

(先着30組)26日(土) 午前9:00～

無料 ビーズ腕輪づくり

26日(土) 午前9時～

お楽しみ抽選会

26日(土) 午前9時～

(先着150人)

屋外各種販売お楽しみコーナー

●お米すくいどり(先着順)

●産直野菜販売

●花苗・豆腐販売

●ゲームコーナー

スーパーボールすくい 他

●動物ふれあい体験



縁日
コーナー

※ホール内での飲食は
ご遠慮ください

からあげ
フライドポテト
焼きそば
お好み焼
クレープ
かき氷
ビール 他



お問合せ

西いわみメモリアルセンター

JAしまね益田東支店

屋外での催しは雨天の場合中止とします：前日 25 日決定

電話：☎ 0120-121-860

電話：0856-27-0003 益田市遠田町 972-1

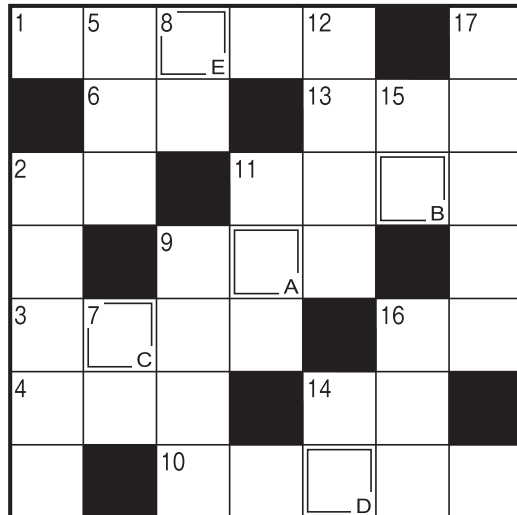


JA共済の地域貢献活動



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ② ススキや月見団子を供える行事
⑤ ブドウを使って仕込む酒
⑦ エックスとゼットのあいだ
⑧ カミの反対
⑨ 北海道の市。監獄があったことで有名
⑪ 悪いものが入っていないか、先に食べて証明します
⑫ 高橋真梨子のヒット曲『——吐息』
⑭ 羊の肉はマトン。子羊の肉は
⑮ 落花生にはタンパク——も豊富に含まれます
⑯ 鹿児島県の桜島は活発に繰り返しています
⑰ はえば立て、立てば歩めの——

ヨコのカギ

- ① 秋らしい風情の雲。魚の名前がつけます
② 天・地・——
③ 大酒飲みのこと
④ 先手が黒、後手が白を使います
⑥ さつま、里、こんにやくといえ
⑨ でこぼこの進みづらい道のこと
⑩ 音楽にのれる人に備わっているもの
⑪ アルバイト、グミ、カルテといった言葉の元はこれ
⑬ 形態——はものまねの一種
⑭ サギソウもデンドロビウムもこの仲間
⑯ ゆっくりつかって疲れを取ります

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

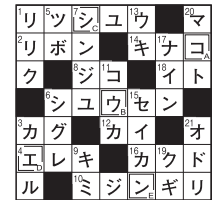
〒698-0024 益田市駅前町15-1

JAしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係
2026年9月4日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で64人の方からご応募いただきました。

先月号の答え

「コウセン」



川柳の広場

選句者 島根県川柳連盟会長
竹治ちかし先生

最優秀賞

世の中を分かったつもり今日を生き

隠岐の島町 上川 晃一様

優秀賞

炎天下水と覚悟を連れて出る

出雲市 櫛井 伸幸様

夢きらきらたくさん光っていた夜店

兵庫県 小田 和子様

少年の日の思い出や鰻釣り

兵庫県 小田 慶喜様

佳作

八十路坂欲を味方に動く足

出雲市 坂本ヤヨイ様
出雲市 竹田 和子様
出雲市 佐野美和子様
出雲市 北村 功様
雲南市 飯塚 保春様

生きている証だ今朝の水美味い
ちっぱけな悩みと気づく広い空
長寿とはほどよき酒とよき笑顔

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 900円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい広報課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



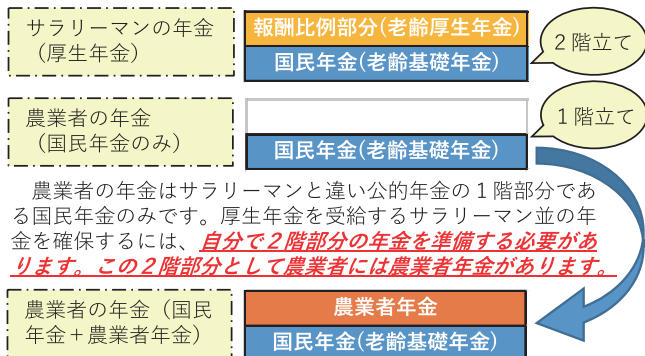
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、**自分で2階部分の年金を準備する必要があります。**この2階部分として農業者には**農業者年金**があります。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
だけど税金が多くなるのでは…
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も**全額社会保険料控除**に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その**合計額（最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円）**が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 には…

国民年金
第1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く

年間60日以上
農業に従事

65歳未満
60歳～65歳未満の
方は、国民年金任
意加入被保険者に
限ります。

の方なら**どなたでも**加入できます。

ハチを見かけたら巣づくり警報！

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず！！

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に
お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社/島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■出雲営業所/☎0853-31-9600

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■江津出張所/☎0855-52-6852

■隠岐営業所/☎08512-2-2471



島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

ズッキーニのマリネ

材料（4人分）

ズッキーニ……………400g
 オリーブ油……………大さじ1
 塩こしょう……………少々
 玉ねぎ……………1個（300g）
 ピーマン…4～5本（50g）
 A かんたん酢……………100cc
 薄口醤油……………大さじ1
 粗びき黒胡椒……………少々

コメント

- ・油控えめでヘルシーなのに、コクがあって大満足の一品です！
- ・大きく育ってしまったズッキーニでも食べやすく、日持ちもするお助け副菜。

作り方

- ①玉ねぎは薄くスライスする。辛みが気になる場合は水にさらすか、しばらく空気にさらし辛みを取る。
- ②ボウルにAの調味料を混ぜ合わせ、①の玉ねぎを加えてひと混ぜする。
- ③ズッキーニを厚さ1cmの輪切り又は半月切りにする。
- ④フライパンにオリーブ油を熱し、ズッキーニを並べ入れ、塩こしょうを振る。焼き色がついたら裏返し、好みの硬さに焼く。
- ⑤ズッキーニが熱いうちに、②のボウルに浸す。
- ⑥薄くスライスしたピーマンも加え、ひと混ぜする。



アレンジ

- ・タコやエビ、サーモン、ちりめんじゃこなどシーフードを足すと、バリエーションが広がります。
- ・野菜は茄子、人参、南瓜、長ネギ等を焼いて入れたり、トマト、アボカド、きゅうり等をひと口大に切って入れたり、いろいろな野菜の組み合わせが楽しめます。

トマ玉丼

材料（4人分）

トマト……………3個（500g）
 玉ねぎ……………1個（250g）
 オクラ……………4本
 豆腐……………150g
 卵……………3個
 水……………300cc
 A 砂糖……………大さじ1
 みりん……………大さじ1
 醤油……………大さじ3
 天かす……………大さじ4～
 ごはん……………4杯分

コメント

- ・豆腐と卵でプロテインもしっかりチャージ！お肉なしでも大満足のスピード夏丼。
- ・だいりす！完熟トマトの天然の旨味と酸味が広がる夏の食欲回復に役立！

作り方

- ①トマトはヘタを取り、ひと口大に切る（お好みで湯むきにして皮を取る）。玉ねぎは縦半分に切って、5ミリ幅の薄切りにする。豆腐は1.5cm角に切る。オクラは板ずりして3ミリの厚さの輪切りにする。
- ②鍋にトマトと玉ねぎ、分量の水を入れて火にかけ、沸騰したら中火にし、玉ねぎに火を通す。
- ③②に豆腐とAを加え、再び沸騰したらオクラと溶き卵を回し入れ、ざっと混ぜて半熟のうちに火を止める。
- ④器に盛ったご飯の上に、③をかけ、天かすを振りかける。



アレンジ

- ・材料をオリーブ油で炒め、ピザ用チーズを加えて塩こしょうで味付けすればイタリアン丼に！
- ・豆腐を豚肉・牛肉・鶏肉に代えて、スタミナアップ！味付けは焼肉のたれでOK！

健康散歩
For Your Health

トイレが近くて困っていませんか？

JA島根厚生連

日中にトイレへ行く回数が多くて困っていませんか？

一般的に、成人の排尿回数は1日に5～7回程度とされており、排尿後に次の尿意を感じるまでは3～5時間程度かかるといわれています。一方で、尿意を感じる間隔が短くなり、排尿が1日に8回以上みられる場合は「頻尿」にあたるとされています。ただし排尿回数には個人差があり、回数がそれほど多くなくてもご自身が「トイレが近くて困る」と感じている場合には、頻尿として対応が必要なものもあります。

頻尿の原因には、次のようなものがあります。

■ 過活動膀胱

膀胱が過敏になり、尿が十分に溜まっていなくても膀胱が勝手に収縮してしまう病気です。急に強い尿意が起こり、トイレの回数が増えます。

■ 前立腺肥大

前立腺が大きくなることで尿道が圧迫され、尿が出にくくなります。排尿後もすっきりしない感じ（残尿感）があり、



何度もトイレに行きたくなることがあります。

■ 加齢・妊娠・出産

加齢や妊娠、出産によって膀胱や骨盤周囲の筋力が低下すると、一度に膀胱にためられる尿の量が減り、頻尿につながることがあります。

■ 膀胱炎

細菌が膀胱に入り炎症が起こることで、膀胱が刺激を受けやすくなります。そのため、尿があまり溜まっていなくても尿意を感じ、頻尿にトイレへ行くようになります。

頻尿は、原因に応じた治療や対策によって改善が期待できます。「トイレが近くて困る」、「夜中に何度も起きて眠れない」、「外出時にトイレが気になってしまう」など、日常生活に支障がある場合は、早めにかかりつけ医や泌尿器科に相談しましょう。



【編集後記】島根米の新品種の名称が「つぶきらり」に決まりました！試食をさせていただく機会がありましたが、その名が表す通り大粒で美しく、一口だけでしたがとても美味しかったです！再来年から本格的に栽培が始まるとのこと。本誌でもしっかりPRしながら、楽しみに待ちたいと思います！（児）